



第 46 号 平成 28 年 6 月 1 日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360  
(E-mail) [info@fukusei.jp](mailto:info@fukusei.jp) (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>

#### 《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として  
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

#### 《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療  
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成  
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を目指します
- 3 経営の安定化  
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します



### 緩和ケアの地域連携について

～静岡がんセンターの緩和ケア地域連携カンファレンスに参加して～

診療部 平田敦子

「地域連携」の推進に取り組むことは、今年度の病院や各部の目標にも取り上げられており神山復生病院にとって重要なテーマです。この度、静岡がんセンター主催で「緩和ケア地域連携カンファレンス」が年間を通して月1回開催されることになり、5月12日の第1回目にさっそく私とホスピス病棟看護師3名が参加しました。「がん疼痛の評価」について緩和医療科の佐藤 哲観先生からミニレクチャーがあり、その後に関業医から対応に悩んだ症例についての発表、参加者全員での討論へと続きました。訪問看護師や地域の開業医、大学病院の理学療法士など、所属施設も職種も様々なメンバーが集まりましたが、参加者の患者様のために何ができるのか、どうすればよいのかという熱い思いが伝わってきました。

「勉強する」こと以外に「顔と顔が見える連携を作っていく」ことが、この会のねらいです。在宅からホスピスまでがん患者さん一人ひとりに最適の場所で療養してもらえるよう私達も積極的に地域の医療従事者の輪に参加していきます。



## 新人看護師さん2ヵ月経っていかがですか



飯塚みほさん

神山復生病院に入職して2ヶ月がたちました。初めは不安や緊張がありましたが、師長、プリセプター、先輩看護師、病棟スタッフの皆さんの、優しく丁寧なご指導のおかげで、少しではありますが病棟に慣れてきました。

看護師になり人の命を預かっているという責任を日々感じています。患者様に迷惑をかけず、患者様が安楽に過ごせるためにも、患者様をよく看ること、報告・連絡・相談の重要性を強く感じています。まだまだ未熟で、業務についてわからない事が沢山ありますが、プリセプター、先輩看護師、病棟スタッフ、患者様に感謝の気持ちを持ち、これから多くの事を学び成長していきたいと思っています。これからも一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



羽畑はるかさん

療養病棟で働き初めて2ヶ月が経ちました。この間は先輩看護師についてまわり知識や技術など様々なことを教わりながら実際に看護を行ってきました。初めは右も左も分からず緊張していましたが今では1日の流れも分かってきてだんだん慣れてきたと思います。しかし、看護師としてはまだまだ知識・技術が足りず分からないことも多く不安もいっぱいです。そんな私ですがプリセプターを始め先輩看護師、病棟スタッフに支えられながら1日1日を楽しく過ごすことができています。

また、看護師は患者様の命を預かる仕事だからこそ日々勉強していかなくてはいけないと思いました。覚えることは沢山ありますが1つ1つの技術を正確・丁寧に行い患者様が安心して看護を受けられるようにしていきたいと思いました。知識・技術ともに向上していきたいように日々の学びを大切にしながらこれからも頑張っていきたいと思っています。



## 看護実習を受け入れて

草野三千代

5月9日より県立東部看護学校Ⅱ学科の老年看護実習が始まりました。老年看護の実習は今年6年目を迎えております。実習を受け入れ始めた当初は実習指導者研修を終了している指導者は1人しかおらず、十分な指導が行えているのかと不安でしたが、今では研修修了者が3人、更に今年度は1人受講予定となり、指導体制も徐々に整ってきています。

指導者はいつも神山復生病院の理念に基づいた看護を、看護学生にどのように伝えれば良いかと試行錯誤しております。その想いは熱く、愛情を持って学生に向き合っています。学生は指導者や病棟スタッフの姿を通し、ピュアな心で復生病院の看護を理解してくれていると感じます。また指導者のみならず、多職種チームが学生を大きく支えてくれることで、更に実習を深める機会を得られているようです。

6月には引き続き老年看護、7月には在宅看護、その先には基礎看護と実習は続いていきますが、実習が実り多いものとなるように、病院全体で協力し受け入れていきたいと思っています。



## 職場紹介 事務部(施設管理・営繕)

事務部(施設管理・営繕部門)は、主に、病院の建物とボイラー等の施設管理、宿直業務(夜間の防火、防犯を含む)、及び敷地内の樹木等の管理を行っております。当院の敷地は、豊かな自然に恵まれ、春・夏・秋・冬、四季折々の風景を楽しむことができますので、ご来院の際は、是非、敷地内の散策をお楽しみ下さい。

(事務部 森田)





## 委員会紹介① 教育研修委員会

杉山美貴子

神山復生病院では医療の質向上を目的とし、様々な委員会を設け定期的に委員会を開催しております。各委員会がどのような活動をしているのか順次ご紹介していきたいと思っておりますので、お楽しみに・・・！！期待しています。

第1回目は「教育研修委員会」をご紹介いたします。委員会は11名で構成されており、委員長は看護部長である私(杉山美貴子)が担当しております。委員会活動は小部会制をとっており、職員研修担当部会、新規入職者研修部会、そして成果・研究発表部会の3つの部会に分かれ活動しております。職員研修部会では、主に職員会議の場を活用した研修を企画・運営しております。例えば、法令で定められている医療安全や感染対策の研修は、それを担っている委員会と連携し実施しております。昨年度からは研修参加者の増加を目標に、DVD研修も開始しております。新規入職者研修は入職後3か月、6か月の年2回を企画・運営しております。当院の歴史から始まり、業務遂行に必要となる基準や手順を学びます。そして、成果・研究発表部会は、一年をかけて復生病院の医療活動全般の質向上をめざし、様々な取り組みをまとめ、発表してもらうためのサポートを行っています。また今年度初めての取り組みとして、昨年度発表された研究をポスター発表として病院玄関に掲示しました。

「職員教育」という大切な部分を担っている委員会であるという自覚を持ち、今年度も委員一人一人が小部会の中で相互に協力しながら、力を発揮してくれることを期待しています。



## 院内の像⑤ ～聖ジェラルド・マイエラ～

シスター徳永美智子



病院駐車場の片隅に二つの像が立っています。入って右側の像が聖テレジアの像です。左側がジェラルド・マイエラの像です。1726年4月、南イタリア、バジリカタ地方のムロ町で仕立て屋をしていたマイエラ家に5番目の男の子が生まれました。父親はジェラルドが12歳の時に亡くなり、ジェラルドは仕立て屋を継ぐために裁縫師の元で見習いをしながら裁縫の腕を上げて行き、1745年にムロ町に店を開きました。こういうエピソードが残っています。ある貧しい客が布地を持ってきて上着を作ってほしいと頼みました。ジェラルドはその布地を見て、「これでは上着には足りない」と言いました。客は「お金がないので布地を買えません。」それから何日かして上着を取りに来た客は、ジェラルドから出来上がった上着と余った布地を手渡されました。この上着の布地と残った布地の話のように、ジェラルドは自分の生活に必要な金以外は貧しい人々に分け与えたという話が残っています。1748年に修道会に入ったジェラルドは修道院の庭仕事や門番、受付をしながら喜びのうちに1755年10月15日に29歳の若さで生涯を終えました。復生病院では1961年に社会復帰の手段として養鶏、養豚、茶畑等の施設を造る計画を立てました。しかし資金が足りません。そこでジェラルド・マイエラをお願いをし、寄付をいただきました。今は閉鎖してありませんが鶏舎3棟をもつ農場をたくさんの方々の協力の元に1964年に開設しました。

現在復原工事中の記念館が以前の病院事務本館の時に、事務所の棚の上にジェラルド・マイエラの小さなご像が於いてあり、お金が足りない時はジェラルドをお願いした記憶があります。創立127年の長い歴史の中で一役買ったジェラルド・マイエラは今も病院を訪れる人々を見守っています。次回は日時計のお話を致しましょう。お楽しみに！



## 外来担当表



### 土曜日午前の内科外来を再開します

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(林)	内科(平田)	内科(林) 内科(井上)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科(井上) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休診
午後	休診	休診	休診	緩和ケア外来 (平田)	休診	休診	

心療内科、緩和ケア外来は予約制

## 皮膚科外来予定表



### 第3、5土曜日も皮膚科診療を行っています

太田 有史 医師	
診察日	6 / 4 休診 ・ 7 / 2 ・ 8 / 6
新村 真人 医師	
診察日	6 / 11 ・ 7 / 9 ・ 8 / 13
井ノ口早苗 医師	
診察日	6 / 18 ・ 7 / 16 ・ 8 / 20 7 / 30
石地 尚興 医師	
診察日	6 / 25 ・ 7 / 23 ・ 8 / 27

皮膚科医師紹介  
井ノ口早苗 医師



東京慈恵会医科大学皮膚科  
専門 : アトピー性皮膚炎  
診察日 : 毎月第3,5土曜日  
(都合により変更あり)

口都合等により、休診や代診の場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

## 新しい仲間の紹介 「宜しくお願ひします♪」



吉原 紀江 (ホスピス 看護師)  
職員の方々や出逢ってゆく方々との御縁を大切にしながら頑張ります。宜しくお願ひします。



鈴木 一枝 (栄養課 管理栄養士)  
御殿場に引越してきて3ヶ月。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



## 職員(介護支援専門員・介護員)募集中 お気軽にお問い合わせ下さい

連絡先:0550(87)0004 担当:森田



## 編集後記

仕事を終え家路に向かう時、田植えを終えた御殿場の田んぼから元気なカエルの鳴き声が聞こえてきます。その鳴き声につられるように、幼少の頃を過ごした故郷の田んぼを思い出し、懐かしさと共に少々センチメンタルな気分になったりしています。6月を迎えいよいよ梅雨到来・・・元気なカエルの合唱を聞きながら、雨の季節を楽しみたいと思います。

